

府市の視覚・聴覚障がいの早期教育相談（0～2歳児）について

平成27年2月 支援教育課

大阪府			大阪府		
	相談の概要	平成25年度 実施状況		相談の概要	平成25年度 実施状況
府立視覚支援学校	<ul style="list-style-type: none"> <li>○交流保育 視覚障がいのある乳幼児と視覚支援学校在籍児との交流保育（保護者参加）を行い、普段の幼稚部の保育を体験 ・身近なものを使ったあそび（新聞紙、段ボール等）、季節の歌、おはなし、こま・けん玉・お手玉等のあそび</li> <li>○親子教室 視覚障がい乳幼児の保護者に対する基本的な生活習慣や「あそび」などに関する支援 ・季節の歌、手遊び、おもちゃ作り、触る絵本の体験</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○交流保育（0-5歳対象、月1回程度実施） ・9回実施（0-2歳は延べ14人参加）</li> <li>○親子教室（0-5歳対象、月1回程度実施） ・8回実施、0-2歳は延べ1人参加</li> <li>○教育相談 ・個別相談 0-2歳は延べ8人</li> </ul>	市立視覚特別支援学校	<ul style="list-style-type: none"> <li>こぐま教室</li> <li>○交流保育 ・音楽リズム、リトミック ・固定遊具や視覚障がい児のために工夫された道具を使った遊びの紹介 ・それぞれの「見え」の違いに応じた「視知覚遊び」の体験</li> <li>○保護者支援 ・視覚障がい児理解のための基礎知識 ・遊びを通して、子どもへのアプローチについて保護者を支援</li> </ul>	<p>0歳 12人 のべ52回</p> <p>1歳 12人 のべ67回</p> <p>2歳 16人 のべ90回</p>
府立生野聴覚支援学校	<ul style="list-style-type: none"> <li>いくの聴覚言語支援センター（I-DIC）</li> <li>○子どもへの関わり方等についての保護者への支援 ・補聴器装用による聴覚活用を促す ・年齢相応の理解力や判断力、言語力、社会性を身につける ・学習の基礎的な態度や力の育成 ・発音指導、伝達や応答などの会話力の育成</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○学校主催の講座 主に0-2歳対象（一部3-5歳あり） 保護者の相談支援 ・H25：延べ参加人数85人 ・H26：延べ参加人数185人</li> <li>○教育相談 個別相談（来訪相談、電話相談も含む） ・H25：0-2歳は計77件</li> </ul>	市立聴覚特別支援学校	<ul style="list-style-type: none"> <li>・一人一人の子どもの聞こえや発達に応じた話しかけ、関わり方についての保護者支援・聴力検査や聞こえの観察</li> <li>・医療機関と連携をとりながら、補聴器の装用と調整</li> <li>・保護者とのふれあいを大切にし、遊びや生活の中でことばを育て、心身の発達を促す</li> </ul>	<p>0歳 11人 のべ24回</p> <p>1歳 6人 のべ24回</p> <p>2歳 4人 のべ24回</p>
府立堺聴覚支援学校	<ul style="list-style-type: none"> <li>○難聴や補聴器に関する相談 ・医療機関と連携をとりながら、聴力測定、補聴器のフィッティング、補聴器や人工内耳についての相談</li> <li>○コミュニケーションに関する相談 ・親子あそび、歌、リズムあそび、絵本の読み聞かせ</li> <li>○生活に関する相談 ・身辺自立、家庭・保育所での過ごし方</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○電話相談など ・延べ29人で 合計回数29回</li> <li>○校内での相談支援 ・5～6人グループで 合計164回</li> </ul>			

\*実施状況における人数、回数については、府は相談内容ごとに、市は年齢ごとにカウントしています。